

令和2年度 加賀市当初予算概要

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。

1 全会計の予算総額 675億7,350万円 (前年比 +13億4,070万円 +2.0%)

2 一般会計予算 337億8,500万円 (前年比 +11億4,400万円 +3.5%) <地方財政計画の伸び率 +1.3%>

※参考 借換債を除く場合 322億8,302万円 (前年比 +6億344万円 +1.9%)

令和2年度は、スマートシティの実現に向けた「デジタル化の推進」、「未来を担う人材の育成」、「脱炭素社会への取組み」などの、他自治体に先駆けた施策を積極的に展開することに加え、加賀ごみ処理施設（焼却施設）・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業費（前年比+7億6,225万円）などが増加し、予算規模は前年比で3.5%増加している。（歳入歳出に同額が計上される借換債を除く実質の規模では1.9%増加）

主な歳入	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 市 税	92億5,790万円	(△ 0.6%)	法人市民税法人税割の税率引き下げによる減少
② 地方譲与税 及び交付金	22億1,330万円	(+ 15.0%)	地方消費税交付金の増加、法人事業税交付金の新設により増加
③ 地方交付税	71億2,400万円	(△ 2.6%)	地方消費税交付金等の増加に伴う減少
④ 国庫支出金	57億2,491万円	(+ 13.9%)	加賀ごみ処理施設（焼却施設）・リサイクルプラザ基幹的設備改良費補助金の増加
⑤ 県支出金	19億7,576万円	(△ 1.1%)	選挙事務委託金（参議院、県議会）の皆減
⑥ 繰入金	14億5,272万円	(+ 3.3%)	減債基金、まちづくり振興基金及び重点事業推進基金からの繰入れの増加 (うち、財政調整基金の取り崩し 5億9,000万円 (± 0.0%))
⑦ 市 債	49億2,418万円	(+ 7.1%)	借換債の増加 (うち、臨時財政対策債 9億2,940万円 (△ 0.9%)) (うち、借換債 15億198万円 (+56.2%))

主な歳出

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 人件費	50億 6,064万円	(+ 9.4%)	臨時職員費(物件費に計上)が会計年度任用職員費(人件費に計上)へ移行することによる増加
② 扶助費	67億 9,334万円	(△ 2.0%)	生活保護扶助費の減少
③ 公債費	47億 9,203万円	(+ 15.6%)	借換債の増加
④ 物件費	47億 372万円	(△ 8.5%)	加賀市プレミアム付商品券事務の皆減 臨時職員費(物件費に計上)が会計年度任用職員費(人件費に計上)へ移行することによる減少
⑤ 補助費	19億 2,498万円	(+ 5.4%)	保育園等給食費無料化事業費の通年化による増加
⑥ 投資及び出資金	7億 3,305万円	(+ 11.1%)	病院事業会計への出資金の増加
⑦ 繰出金	43億 8,683万円	(± 0.0%)	
⑧ 投資的経費	47億 9,601万円	(+ 9.5%)	加賀ごみ処理施設(焼却施設)・リサイクルプラザ基幹的設備改良費の増加 加賀温泉駅周辺施設整備費の増加

3 特別会計予算(5会計) 161億 9,150万円 (前年比 △3億 3,130万円 △2.0%)

(1) 国民健康保険特別会計 73億 5,580万円 (前年比 △4億 570万円 △5.2%)

被保険者数の減少(R1 14,629人⇒ R2 13,793人 △836人)が見込まれることなどから、保険給付費の減少を見込む。

(2) 後期高齢者医療特別会計 9億 9,060万円 (前年比 +2,200万円 +2.3%)

後期高齢者医療保険料の制度改正に伴い保険料の軽減額が減少したことから、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の増加を見込む。

(3) 介護保険特別会計 75億 2,300万円 (前年比 +2,640万円 +0.4%)

介護報酬改定による給付費の増加により、全体的な増加を見込む。

(4) 加賀山代温泉財産区特別会計 1 億 2,940 万円 (前年比 Δ 60 万円 Δ 0.5%)

「総湯」・「古総湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(5) 加賀山中温泉財産区特別会計 1 億 9,270 万円 (前年比 +2,660 万円 +16.0%)

源泉の配湯事業を行うとともに「菊の湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

4 企業会計予算 (3会計) 175 億 9,700 万円 (前年比 +5 億 2,800 万円 +3.1%)

(1) 病院事業会計 94 億 1,520 万円 (前年比 +5 億 2,070 万円 +5.9%)

医療センターの運営により、安定した地域医療の推進を図る。

(2) 水道事業会計 41 億 80 万円 (前年比 +1 億 2,200 万円 +3.1%)

水道事業ビジョンに基づき、老朽化した水道管や水道施設の更新事業を行う。

(3) 下水道事業会計 40 億 8,100 万円 (前年比 Δ 1 億 1,470 万円 Δ 2.7%)

大聖寺川処理区(作見町・大聖寺西町・山中温泉長谷田町など)等の下水道整備事業を行う。